

ICONプローブ専用注文書 (for RealTimePCR)

ご注文日

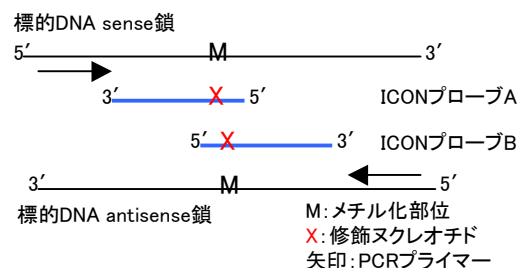
ご依頼者様	ご住所			
	ご部署			
	お名前			
	住所	〒		
	電話番号		FAX	
	E-mailアドレス			
	ご希望代理店		連絡先	

ICONプローブ配列設計のポイント

- 他のメチル化部位の配列に対応しないかご確認下さい。
- プローブ同士が反応温度でハイブリダイゼーションを起こさないように配列をずらして設計してください。
- ICONプローブは目的のメチル化候補に対してセンス鎖用、アンチセンス鎖用の各1配列を用意します。
- 定量的PCR等、アプリケーション中でPCRを行う場合は、ICONプローブを起点としたDNA合成が生じないようにあらかじめ3'末端にリン酸基修飾を付加しておくことが望ましく、末端修飾をご希望の場合はご注文欄の3'末端リン酸基修飾欄の「必要」を○で囲んでください(標準)。
- 定量的PCR用プライマーは、ICONプローブ結合領域を挟み込む形で設定してください。(下図矢印参照)
- 目的のメチル化領域内に複数のメチルシトシンが存在する場合でも、対応する修飾ヌクレオチドは1ヶ所を設定していただければ検出可能です。複数挿入は2本鎖の安定性が落ちるため推奨いたしません。
- プローブの長さは反応・定量のいずれの工程にも原理的には影響しません。
基本的に20merで設定しておりますが、長さ変更を希望される場合は「お問い合わせ・連絡事項」欄にその旨をご記入ください。
- 修飾ヌクレオチドを挿入する位置は自由に選んでいただけますが、モデル配列としては
5'- 4base-X-15base -3' がございます。

RealTimePCRの検量線用サンプルについて(参考)

- ◆以下の方法で検量線用サンプルを作成可能です
- 目的配列を含む300base程度をPCRにて増幅し、精製(PCRによりメチル化部分が非メチル化状態になったものが増幅される)⇒メチル化 0% サンプル
 - 1で得られたサンプルに対して、市販のメチル化キットを用いてメチル化を行う⇒メチル化 100% サンプル
 - 1と2を比率を変えて混合し、中間濃度サンプルとする



ご注文	シーケンス名称			
	ICONプローブ合成配列	配列長20merで設定してください		
	sense鎖ターゲットプローブ	5'-		-3'
	antisense鎖ターゲットプローブ	5'-		-3'
	3'末端リン酸基修飾	必要	・	不要
保証量(必要量が多い場合はご記入ください)	通常	: 5nmol	⇒ 変更	nmol

ご注文時の注意


- 配列中の目的のメチルシトシンに対応する位置に1ヶ所修飾ヌクレオチドをX(エックス)としてご指定下さい

配列記入例	5'-	ACTC X CCCTGGGTGTTTCGAG	-3'
-------	-----	--------------------------------	-----
- LNA挿入や末端修飾などをご希望の場合は「お問い合わせ・連絡事項」欄に詳細をご記入下さい。ご注文いただいた後、お見積もりを出させていただきます。
- 商品価格は20merまでの配列長での定価です。それ以上の場合は別途お見積もりを出させていただきます。

お問い合わせ
連絡事項

代理店

製造元・発売元

 株式会社ジーンデザイン

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7丁目7-20

彩都バイオイノベーションセンター内

TEL: 0120-477-015 (フリーダイヤル)

FAX: 072-640-5181

E-mail: icon@genedesign.co.jp

URL: <http://www.genedesign.co.jp>